

制服の変遷

社会情勢等や税関を取り巻く環境も大きく変化し、移り変わる時代とともに税関職員も装いを新たに生まれ変わってきた。前回の制服（平成6年）はソフトスーツで親しみやすくシンプルなデザインが採用されたが、現在の制服は、税関職員及び国民に対するアンケートの結果、税関制服に最も必要な要素として多くの意見が寄せられた「威厳性、信頼性、規律性」を配意して改定された。



明治元年



明治5年



明治32年



昭和34年



平成6年



昭和29年



昭和34年



昭和44年



昭和54年



平成6年



平成22年～現在

